



作る人と食べる人

つながる



江別は市街地から足を延ばすと農地が広がり、朝採りの野菜や手作りの加工品が市内にいなから手に入ります。

食への安全安心の関心が高まる中、生産者である「作る人」と、消費者である「食べる人」の距離の近さは江別の強み。一方で両者の交流はまだ発展途上です。

そんな中、お互いの理解を深めようと農家を中心に協議会を立ち上げ、生産者と消費者の交流活動に10年間取り組んできました。

その結果、地元産のおいしさ、安心感、作り手の熱い思いが伝わり、市内にも地元産のファンが増えてきました。そして農家にとってもこれからの農業を考える上で、消費者とのつながりがとても大事なものになっています。

今回の特集では、その10年の歩みと、顔の見える関係のこれからについて考えます。



主な活動

江別市「まち」と「むら」の 交流推進協議会



直売所／新鮮野菜がずらり。オリジナルレシピを提供しているところも。



貸し農園／農家のアドバイスを受けながら、野菜作りを楽しむことができます。



加工品市／毎年11月頃からは農家の母さんが作った加工品が集合する土曜日市が開催されます。



バスツアー／江別野菜満喫バスツアーでは、とうもろこしの収穫体験、直売所めぐりなど江別の農業に触れることができます。

「野菜の選び方は？」「値段はどう決めるの？」8月に開催された「江別野菜満喫バスツアー」では、参加した19人の市民からさまざまな質問が寄せられ、農家の方が直接答える姿が見られました。参加者は野菜の収穫体験や農家の母さん手作りの夏野菜カレーなどの昼食、生産者との交流を通して、地元産の良さ、農家の苦勞、生産者の想いなどに理解を深めました。

ツアーの主催は、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会。生産者と消費者の顔の見える関係を築き、市民に江別の農業への理解を深めてもらおうと活動しています。

「まち」と「むら」をつなぐ

同協議会は、当時の市内直売所17か所と貸し農園6か所の農家を中心となり平成17年に結成。今年で10年を迎えます。同協議会の設立に関わり、貸し農園部会と同協議会の会長を務める菊田常郎さんは「生産者と消費者の交流を打ち出した団体は道内でも先進的な取り組みでした」と当時を振り返ります。



菊田 常郎さん
ふれあい農園さくたを経営。江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会会長。貸し農園部会会長

同協議会は新鮮な江別産食材を扱う直売所部会、農家の畑を一部利用して野菜作りを

地道な活動で生まれる お互いへの理解

楽しんでもらう貸し農園部会、江別産食材でさまざまな加工品を作り、販売する加工品部会の3部会に分かれて、連携しながら活動しています。直売所と貸し農園のマップを作り、各イベントで配布、PRする活動を行ったり、平成18年から農家の母さんによる加工品市を開催したりと地道な活動を続けています。3年前からは江別野菜の魅力を知ってもらおうとバスツアーも実施しています。

お互いの理解少しずつ

菊田会長はこの10年に一定



江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会で作成した「直売所と貸し農園のマップ」と「直売所スタンプラリー台紙」

の手ごたえを感じています。「貸し農園に参加する人からは、農業の楽しさや苦勞が良く分かったという話を聞きます。逆にこんな野菜があるので作ってみてはどのアドバイスされることも。顔を見せて

話す場があることで、農業への理解が深まり、農家にとっても消費者の要望を聞く良い機会になっています。」

さらなる歩み寄りを

一方で生産者と消費者のさらなる歩み寄りが必要だと菊田会長は感じています。「市街地で買えて、安くて、安全安心の高品質のものをという意見も聞きますが、農家戸数は減り、生産費は上がっても売値は下がっており、経営が厳しさを増しています。こうした状況の中で全てを実現するのは難しい。今後は消費者と意見交換する場を増やし、両者の歩み寄りを進める方法を探っていければと思います」と今後のさらなる活動の拡大を考えています。

作る人と食べる人 交流で生まれる信頼

生産者と消費者が知り合い、歩み寄っていくことでお互いにとって、良い効果を生み出しています。

毎日をより楽しく

江別野菜満喫バスツアーに参加した市内在住の高橋富美子さんと田中陸子さんは江別産食材のファン。今回のバスツアーなどを通して、江別で農業が盛んなことや農家の熱意を知り、地元産の魅力



市内で開催された料理教室に参加する高橋富美子さん(右)と田中陸子さん(左)

野菜の選び方も教えてもらって役に立っています」とニコリ。江別の農業を知り、知り合いの農家ができたことで、二人は日々の楽しみが広がったといいます。

最近二人はバスツアーで知り合った農家の母さんが主催する料理教室にも通い始めました。高橋さんは「いろんなレシピを教えてもらってとても楽しいですよ。

に取りつかれたそうです。

「農家さんに話を聞くと、地元産をおいしく食べてほしいという熱意が伝わってくるんです。そのために手間暇をかけて作っているって知ったら、値段にも納得して買っています」と田中さん。直売所で生産者の名前を見ながら選んで買っているそうです。

「知っている農家さんだと安心だし、愛着がわきます。家には江別産野菜を常備しています。新鮮でおいしいのよ」と笑顔。

交流で生まれる変化

生産者にとっても消費者との交流は欠かせないものとなっています。

毎年冬期に開催される、地元農産物の加工品販売などを行う「農家のかあさん土曜日」。これまでは防災ステーションが会場でしたが、2年前から野幌のイオンタウン江別でも開催することに。加工品部会の岡村恵子会長は「行きやすい場所で開催をという意見が前からありました」と話し、店側からの打診もあり実現しました。岡村さんは消費者と交流できる場がとても大事だと話します。「私たちは市内を中心に消費者に買い支えてもらっています。だから顔と顔を合わせて、地元産のおいしさやこだわり、値段の



イオンタウン江別で開催「農家のかあさん土曜日」

美原の江北地区に農業の新しい交流センター



生産者と消費者との交流やグリーンツーリズムの推進が期待される「(仮称)都市と農村の交流拠点施設」の建設の構想が進んでいます。閉校した江北中学校の跡地を有効活用し、平成29年のオープンを予定しています。

この施設ではさまざまな食材の加工、調理、研究ができるテストキッチンやイベントなどで使えるスペースなどが整備され、消費者にとっても江別の農業がより身近に感じられるようになるかと期待されます。

意味などを直接知ってもらえる機会が大事です。要望も聞けますし、励みにもなります。市内数か所のスーパーで定着しつつある「地元野菜コーナー」は、直売所が遠くて行けないという市内の人に地元産をたくさん食べてもらおうと、地元農家の働きかけと企業との協力で実現しました。直売所部会の西脇幸夫会長も地元産が手に入り、また交流できる機会が増えることはお互いにとって良いことだと話します。「消費者の生の声を聞いて、気づかされるのがたくさんあります。交流の場が増えて、今まで札幌などの

消費地に目が向いていた農家にとっても、地元の人にもっと食べてもらおうという意識が高まってきたと思います。

ともに作る信頼

11月23日(月・祝)には江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の10周年を記念して江別の農業を知り、新鮮な野菜や加工品などの特産品が手に入る「えべつベジフェス10」が市民会館で開催されます。このイベントには江別市内の農家が自慢の産品を揃えて集合します。直売所や貸し農園、イベントなどを通して、あなたも生産者と顔の見える信頼を築いていきませんか。



岡村 恵子さん
巴農場を経営。加工品部会会長。

(企画・編集／農業振興課・広報広聴課)

初開催！えべつの食材全員集合！



ベジフェス 10.

主催…江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会

加工品が大集合！

江別産の野菜を販売！

イベントも！



とき **11月23日** (月・祝) 10時～14時
ところ **市民会館ホワイエ・小ホール**



生産者と消費者との交流を進めてきた江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の10周年記念イベント。地元の加工品や地元野菜の直販のほか、江別の食材と家庭菜園に関する各種講座、ブースなどを用意しています。

物品販売 10:00～14:00

● 地元野菜などの直売

寒玉キャベツ、ニンジン、ジャガイモ、カボチャ、ダイコン、ヤーコン、小豆、ニンニクなど



● 地元農畜産物を使用した加工品の販売

ケチャップ、ジャム、味噌、漬物、トマトジュース、黒ニンニク、パン、赤飯、おこわなど



体験ブース 10:30～11:50

● あなたの畑の土は大丈夫!? 「土壌診断コーナー」

講師：農業改良普及センター普及指導員（技術士）五十嵐 正彦

今回初の企画！作物の生育が気になる方は自宅の土を乾燥させ、約20gお持ちください。

各種講座

● ヘルシーで栄養満点 10:15～11:00
「チャチャっとうま旨・楽ちん・朝ごはん！」
講師：フードアナリスト 菅田 久美子



● 野菜たっぷり！ 11:05～11:50
「えべつの野菜でベジスープ講座」
講師：シニア野菜ソムリエ 田所 かおり



上記の講座でカラフルな野菜のブーケを披露します♪
「ベジフルフラワー展示」
(野菜ソムリエ 木田 靖代)



● 初心者にも分かりやすく解説 12:30～13:40
「野菜栽培の基礎知識」
講師：農業改良普及センター普及指導員（技術士）五十嵐 正彦

パネル展示 10:00～14:00

- 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の活動を紹介するパネル展示
- 北翔大学の学生がデザインした「かあさんブランドシール」デザインパネル展示



詳細／農業振興課農畜産係 ☎ 381-1025

